



Copyright © 2022 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. intra-mart Accel Documents Secure Download Option 2022 Spring からの変更点
- 4. 機能一覧
- 5. システム要件
- 6. 検証済み環境
- 7. 制限事項
- 8. 保証規程
- 9. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
-------	------

2022-12-01	初版
------------	----

本書の目的

本書では intra-mart Accel Documents Secure Download Option のリリース内容について記載しています。

サポート終了

Microsoft Internet Explorer 11 のサポート終了に伴い、「保存場所制限」、および、「閲覧期限制御」の2機能は2022年6月15日をもってサポートを終了いたしました。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

- intra-mart Accel Documents Secure Download Option を利用したアプリケーション開発

連携エンジン

PDFメイクアップ

PDFファイルを編集、加工するために必要なソフトウェアです。

スタンドアローン構成と分散構成

本書におけるスタンドアローン構成と分散構成は次の構成を指します。

スタンドアローン構成

intra-mart Accel Platform と同じサーバに連携エンジンを導入する構成です。

分散構成

intra-mart Accel Platform とは別のサーバ（PDF処理サーバ）に連携エンジンを導入する構成です。

Accel Documents Secure Download Option 2022 Winter リリースノート 初版 2022-12-01

intra-mart Accel Documents Secure Download Option 2022 Spring からの変更点

機能

- 「保存場所制限」、および、「閲覧期限制御」のサポートが終了した旨を追記しました。

システム要件

- クライアント要件
 - 「保存場所制限」、および、「閲覧期限制御」のサポートが終了した旨を追記しました。
- セキュリティ要件
 - 保存場所制限 ・ 閲覧期限制御
 - 「保存場所制限」、および、「閲覧期限制御」のサポートが終了した旨を追記しました。

検証済み環境

- サーバ環境
 - Windows Server 2019 日本語版 -> 2022 日本語版 に変更しました。
 - Resin 4.0.65 -> 4.0.66 に変更しました。
 - Payara Server 5.2020.2 を削除しました。
 - Tomcat 8.5.54 -> 9.0.65 に変更しました。

制限事項

【追加された制限事項】

- 追加された制限事項はありません。

【変更された制限事項】

- 変更された制限事項はありません。

【削除された制限事項】

- 削除された制限事項はありません。

intra-mart Accel Documents Secure Download Option

intra-mart Accel Documents Secure Download Option は、intra-mart Accel Documents と連携して利用するオプション製品です。

また、intra-mart Accel Documents Secure Download Option を利用する場合は、intra-mart Accel Documents、および、IM-PDFAutoConverter for Accel Platform が必要です。

intra-mart Accel Documents Secure Download Option では、PDFファイルへセキュリティを付与するセキュリティ機能の使用が可能です。

intra-mart Accel Documents Secure Download Option に含まれるセキュリティ機能の一覧です。

セキュリティ機能

機能	機能概要
保存場所制限	指定されたURL、または、物理パスでPDFファイルを開いた場合のみ閲覧可にする機能です。
閲覧期限制御	閲覧期限が設定されたPDFファイルを、設定された期間内は閲覧可、期間外は閲覧不可にする機能です。 期限は、PDFファイルを開いたマシンの日時をもとに判断されます。
パスワード付与	PDFファイルに オープンパスワード、または、セキュリティパスワードを付与し、閲覧／印刷／アクセス／コピー／編集についての権限を制限する機能です。 オープンパスワード とは、PDFファイルを開く際のパスワードです。セキュリティパスワード とは、PDFファイルの各権限を制限するためのパスワードです。



注意

intra-mart Accel Documents 以外で intra-mart Accel Documents Secure Download Option と同等の機能を利用したい場合は、IM-PDFCoordinator for Accel Platform の機能を利用してください。

IM-PDFCoordinator for Accel Platform を利用する場合、intra-mart Accel Documents Secure Download Option とライセンス体系が異なりますので注意してください。



注意

Microsoft Internet Explorer 11 のサポート終了に伴い、「保存場所制限」、および、「閲覧期限制御」の2機能は2022年6月15日をもってサポートを終了いたしました。

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

サーバ要件

intra-mart Accel Platform （スタンドアローン構成）

- intra-mart Accel Platform 2022 Winter （Standard Edition、Advanced Edition、Enterprise Edition）
- 利用する intra-mart Accel Platform の [サーバ要件](#) に準じます。（Red Hat Enterprise Linux、および、Amazon Linux を除く）
- 利用する intra-mart Accel Documents のサーバ要件に準じます。



コラム

intra-mart Accel Documents のサーバ要件は「intra-mart Accel Documents リリースノート」に記載があります。

「intra-mart Accel Documents リリースノート」はドキュメントライブラリから閲覧することはできません。

「[プロダクトファイルダウンロード](#)」からダウンロードしてください。



注意

[スタンドアローン構成](#) で運用する場合は、Red Hat Enterprise Linux、および、Amazon Linux での構築をサポートしません。



注意

intra-mart Accel Documents Secure Download Option を利用する場合は、intra-mart Accel Documents、および、IM-PDFAutoConverter for Accel Platform が必要です。

intra-mart Accel Documents Secure Download Option 単体で利用することはできません。

intra-mart Accel Documents 以外で intra-mart Accel Documents Secure Download Option と同等の機能を利用したい場合は、IM-PDFCoordinator for Accel Platform の機能を利用してください。

IM-PDFCoordinator for Accel Platform を利用する場合、intra-mart Accel Documents Secure Download Option とライセンス体系が異なりますので注意してください。

**注意**

次のバージョンは必ず正しい組み合わせで運用してください。

異なる組み合わせはサポート対象外です。

- intra-mart Accel Platform のバージョン
- intra-mart Accel Documents Secure Download Option のバージョン
- 連携エンジン PDFメイクアップ のバージョン

連携エンジンの詳細なバージョンについては、「[intra-mart Accel Documents Secure Download Option セットアップガイド](#)」-「[連携エンジンバージョン](#)」を参照してください。

**注意**

intra-mart Accel Platform（[スタンドアローン構成](#)）は、連携エンジン PDFメイクアップが必要です。

そのため、連携エンジンを動作させるための要件が、サーバ要件に追加となります。

追加となる要件については「[追加で必要なサーバ要件について](#)」を参照してください。

PDF処理サーバ（分散構成）

種別	製品名
オペレーティングシステム	Windows Server 2012 日本語版（64bit）
	Windows Server 2012 R2 日本語版（64bit）
	Windows Server 2016 日本語版（64bit）
	Windows Server 2019 日本語版（64bit）
	Windows Server 2022 日本語版（64bit）
ハードウェア	各OSの安定稼動が可能となるPC
必要メモリ容量（JVM）	推奨する最小構成 2GB 以上
JDK	Oracle JDK 8
	Oracle JDK 11
Web Application Server	Apache Tomcat 8.5.x
	Apache Tomcat 9.0.x



注意

[分散構成](#) で運用する場合、PDF処理サーバ が必要です。

また、PDF処理サーバ を複数台設置することで、負荷分散（ラウンドロビン方式）が可能です。



注意

intra-mart Accel Documents Secure Download Option を利用する場合は、intra-mart Accel Documents 、および、IM-PDFAutoConverter for Accel Platform が必要です。

intra-mart Accel Documents Secure Download Option 単体で利用することはできません。

intra-mart Accel Documents 以外で intra-mart Accel Documents Secure Download Option と同等の機能を利用したい場合は、IM-PDFCoordinator for Accel Platform の機能を利用してください。

IM-PDFCoordinator for Accel Platform を利用する場合、intra-mart Accel Documents Secure Download Option とライセンス体系が異なりますので注意してください。



注意

PDF処理サーバ で使用するJDKのバージョンは、intra-mart Accel Platform で使用するJDKのバージョンと揃えてください。



注意

次のバージョンは必ず正しい組み合わせで運用してください。

異なる組み合わせはサポート対象外です。

- intra-mart Accel Platform のバージョン
- intra-mart Accel Documents Secure Download Option のバージョン
- 連携エンジン PDFメイクアップ のバージョン

連携エンジンの詳細なバージョンについては、「[intra-mart Accel Documents Secure Download Option セットアップガイド](#)」-「[連携エンジンバージョン](#)」を参照してください。

**注意**

PDF処理サーバ（[分散構成](#)）は、連携エンジン PDFメイクアップが必要です。

そのため、連携エンジンを動作させるための要件が、サーバ要件に追加となります。

追加となる要件については「[追加で必要なサーバ要件について](#)」を参照してください。

追加で必要なサーバ要件について

連携エンジン PDFメイクアップ を動作させるために、対象サーバにメモリ容量、ディスク容量、および、CPUが追加が必要です。

必要な容量については、次の通りです。

種別	製品名
必要メモリ容量（連携エンジン）	4GB以上
必要ディスク容量（連携エンジン）	次の合計値 ■ 10GB以上（PDF処理サーバの場合は20GB以上） ■ 一時ファイルを作成するために必要な空きディスク容量
CPU	2GHz以上を推奨

**注意**

一時ファイルを作成するために必要な空きディスク容量は、ファイルの大きさや利用頻度によって異なります。

intra-mart Accel Documents Secure Download Option は、次の一時ディレクトリを使用します。

- オペレーティングシステムの一時ディレクトリ
- Javaの一時ディレクトリ（java.io.tmpdir）
- intra-mart Accel Platform の一時ディレクトリ

一時ディレクトリの空き容量が不足している場合、PDF帳票の出力に失敗する可能性があります。

**注意**

CPUのコア数については、同時処理要求が発生する頻度とファイルサイズに応じて必要なコア数を用意してください。

クライアント要件



注意

セキュリティ機能 の 保存場所制限 、または、 閲覧期限制御 を使用する場合、クライアント要件は次の通りです。

詳細については、「 [保存場所制限](#) ・ [閲覧期限制御](#) 」を参照してください。

OS	ブラウザ	プラグイン
Windows 10	Internet Explorer 11	Adobe Acrobat Reader
		Adobe Acrobat

上記クライアント要件以外の組合せは対応していません。



注意

Microsoft Internet Explorer 11 のサポート終了に伴い、「保存場所制限」、および、「閲覧期限制御」の2機能は2022年6月15日をもってサポートを終了いたしました。

ライセンス要件

- ユーザ数に応じたライセンスが必要です。
- 分散構成で運用する場合、導入する PDF処理サーバ 数に応じたライセンスが追加が必要です。



注意

intra-mart Accel Documents Secure Download Option を利用する場合は、IM-PDFAutoConverter for Accel Platform が必要です。

そのため、IM-PDFAutoConverter for Accel Platform のライセンスが別途必要です。

セキュリティ要件

オープンパスワード ・ セキュリティパスワード

- オープンパスワード を付与した際、設定できるセキュリティの暗号化レベルは次の通りです。
 - 128bit RC4
 - 128bit AES
- オープンパスワード、および、セキュリティパスワード は、PDF閲覧ソフト、または、Webプラグインでの Adobe 製品上での閲覧のみ対応しています。



注意

オープンパスワード と セキュリティパスワード に同一のパスワードを設定した場合、PDFファイルを開くと付与したセキュリティが必ず解除されます。

そのため、オープンパスワード と セキュリティパスワード は異なるパスワードを設定してください。



注意

オープンパスワード と セキュリティパスワード を併用して使用することを推奨します。

保存場所制限 ・ 閲覧期限制御

- 保存場所制限 、および、 閲覧期限制御 は Adobe 製品でのみ解読可能な JavaScript を、PDF ファイルに埋め込むことで制限をかけています。そのため、 保存場所制限 や 閲覧期限制御 を設定したPDFファイルでもダウンロードは可能です。
- 保存場所制限 は、Webプラグインとして指定する Adobe 製品が認識するURLでチェックをします。



注意

保存場所制限 、および、 閲覧期限制御 はブラウザでのみ動作する機能です。PDF閲覧ソフト単体では動作しません。

利用する際は、Webプラグイン、および、 JavaScript の設定が必要です。



注意

画面のキャプチャを制限する機能はありません。



注意

保存場所制限 、および、 閲覧期限制御 はPDFの規格とは異なる形でセキュリティを付与します。

そのため、Webプラグインのバージョンアップにより、機能が正常に動作しなくなる恐れがあります。

保存場所制限 、および、 閲覧期限制御 は補助的な位置づけのため、セキュリティ強度の高い オープンパスワード 、および、 セキュリティパスワード と併用して使用することを推奨します。



注意

Microsoft Internet Explorer 11 のサポート終了に伴い、「保存場所制限」、および、「閲覧期限制御」の2機能は2022年6月15日をもってサポートを終了いたしました。

以下、弊社動作検証済みの組み合わせです。

サーバ環境

スタンドアローン構成

intra-mart Accel Platform	OS	JDK	Web Application Server	連携エンジン
2022 Winter(Freesia)	Windows Server 2022 日本語版	Oracle JDK 11.0.7	Resin 4.0.66	PDFメイクアップ 4.1.0

分散構成

intra-mart Accel Platform

intra-mart Accel Platform	OS	JDK	Web Application Server
2022 Winter(Freesia)	Windows Server 2022 日 本語版	Oracle JDK 11.0.7	Resin 4.0.66
2022 Winter(Freesia)	Red Hat Enterprise Linux 7.7	OpenJDK 11.0.6	Resin 4.0.66

PDF処理サーバ

OS	JDK	Web Application Server	連携エンジン
Windows Server 2022 日 本語版	Oracle JDK 11.0.7	Tomcat 9.0.65	PDFメイクアップ 4.1.0

全般

ウイルスソフトがPDF処理を妨げる可能性があります

ウイルスソフトが、PDF処理中のファイルを排他制御することがあります。

そのような場合は、PDF編集・加工関連の使用エリアをウイルスチェックの対象から外してください。

使用するバージョンによって、intra-mart Accel Documents Secure Download Option をユーザモジュールとして追加場合があります

intra-mart Accel Documents Secure Download Option 8.0.5 以前のバージョンを使用する場合、IM-Juggling でプロジェクトを作成後、アプリケーションの追加ではなく、ユーザモジュールとして intra-mart Accel Documents Secure Download Option を追加します。

IM-PDFAutoConverter for Accel Platform を同一サーバに設置する場合、連携エンジンの環境変数の設定順序に注意してください

intra-mart Accel Documents Secure Download Option と IM-PDFAutoConverter for Accel Platform を同一サーバに設置する場合、インストールしている連携エンジンの環境変数の設定順序に注意してください。

IM-PDFAutoConverter for Accel Platform を導入している場合、インストールしている 連携エンジン PDFオートコンバータEX の環境変数より、連携エンジン PDFメイクアップ の環境変数が先になるよう設定してください。

正しい順序で設定をしていない場合、エラーが発生します。

IM-PDFAutoConverter for Accel Platform を同一サーバに設置する場合、IM-PDFAutoConverter for Accel Platform の起動ユーザには管理者権限が必要です

intra-mart Accel Documents Secure Download Option と IM-PDFAutoConverter for Accel Platform を同一サーバに設置する場合、IM-PDFAutoConverter for Accel Platform の起動ユーザには管理者権限が必要です。

PDF処理サーバ、Apache Tomcat、および、各アプリケーションの起動ユーザに、管理者権限を保有するユーザを設定してください。

新規販売停止について

セキュリティ機能の保存場所制限、および、閲覧期限制御は、ブラウザとして Internet Explorer を使用する前提の機能です。

このため、Microsoft Internet Explorer 11 のサポート終了（

<https://blogs.windows.com/japan/2021/05/19/the-future-of-internet-explorer-on-windows-10-is-in-microsoft-edge/>）に伴い、セキュリティ機能の保存場所制限、および、閲覧期限制御の

新規販売を停止いたします。

処理対象PDFファイル

サポートしているPDFファイルでも正常に処理されない可能性があります

intra-mart Accel Documents Secure Download Option では、

- IM-PDFAutoConverter for Accel Platform
- IM-PDFDesigner for Accel Platform
- 富士フイルムビジネスイノベーション社複合機
- Canon社複合機
- Adobe Acrobat のPDFMaker、または、Adobe Distillerの標準設定の機能

から生成されたPDFファイルをサポートしています。上記以外から生成されたPDFファイルはサポートできません。



コラム

サポートする Adobe Acrobat のバージョンは、次の通りです。

- Adobe Acrobat Windows版 8、9、X、XI、DC、2017、2020

ただし、別のファイルが添付されたPDFファイルは、添付ファイルが外れて処理されます。

また、PDFファイルに JavaScript を付けたものは、JavaScript が削除される可能性があります。

その他、次のケースは正常に処理、表示されない可能性があります。

- バインダー化されたPDFやPDFポートフォリオ等、Adobe Acrobat 8.X以降のものから出力されるPDFの規格1.7に相当する機能を使用したPDFファイル
- 電子署名が付与されているPDFファイル
- その他特殊な機能や特殊な設定を使用したPDFファイル

PDF処理のサポートできないファイル形式やケース

PDF処理のサポートできない編集対象ファイルの形式やケースは、次の通りです。

- 付与されている オープンパスワード が不明なPDFファイル
- 付与されている セキュリティパスワード が不明なPDFファイル
- サードベンダーソフトによって変換されたPDFファイルを、Adobe Acrobat で編集したPDF

ファイル

- Adobe Acrobat 3D、または、Adobe Acrobat 9 Pro Extended以降で作成された3Dオブジェクトが使用されているPDFファイル
- その他特殊な機能や特殊な設定を使用したPDFファイル

オブジェクトが追加されている編集対象ファイルを使用した場合、処理によってオブジェクトのデータが欠落します

オブジェクトが追加されている編集対象ファイルを使用した場合、処理によってオブジェクトのデータが欠落し、出力PDFファイルの見た目が崩れます。

セキュリティの付与を行った場合、注釈・フォーム・リンクのデータは保持されますが、しおりのデータが欠落します。

電子署名のデータについては、次の通りです。

- WEB最適化ONの場合、エラーが発生し、処理は失敗する。
- WEB最適化OFFの場合、処理は成功するが、データが欠落する。



コラム

設定によっては、上記処理結果に合致しない場合もあります。

ファイルサイズが2GBを超すPDFファイルはPDF処理できません

ファイルサイズが2GBを超すPDFファイルはPDF処理できません。

そのような場合、PDFファイルを分割後、PDF処理してください。

セキュリティ機能

編集対象ファイルに事前にセキュリティが付与されている場合、PDF処理ができません

セキュリティ機能 を付与する編集対象ファイルに、事前にセキュリティが付与されている場合、エラーが発生し、PDF処理ができません。

オープンパスワード、または、セキュリティパスワード が設定されている場合、次のいずれかの対応を行ってください。

- オープンパスワード、および、セキュリティパスワード が設定されている場合、設定されているセキュリティパスワードを指定し、PDF処理を行う。
- オープンパスワードのみが設定されている場合、設定されているオープンパスワードを指定し、PDF処理を行う。
- セキュリティパスワードのみが設定されている場合、設定されているセキュリティパスワードを指定し、PDF処理を行う。

セキュリティ機能が付与されていても、PDFビューワによって、PDFファイルを閲覧、編集できる可能性があります。

PDFファイルの配布先が、「[クライアント要件](#)」に準じているか確認してください。



注意

オープンパスワードはPDFファイル自体を暗号化しますが、PDFビューワによって、オープンパスワードを入力しなくてもPDFファイルが閲覧できてしまいます。

また、セキュリティパスワードの制御は単純なフラグのため、フラグを無視するPDFビューワを使用した場合、PDFファイルが閲覧、編集できてしまいます。

そのため、オープンパスワードとセキュリティパスワードは併用して使用することを推奨します。



注意

保存場所制限、または、閲覧期限制御のみを設定した場合、PDFファイルを編集できてしまうため、保存場所制限、または、閲覧期限制御を使用する場合は、セキュリティパスワードを併用して使用することを推奨します。

PDF閲覧ソフトとして使用する Adobe 製品には、いくつかの制限事項があります

PDF閲覧ソフトとして使用する Adobe Acrobat Reader、および、Adobe Acrobat には、次の制限事項があります。

- Adobe Acrobat Reader、および、Adobe Acrobat の一部バージョンには、今回の手法と合致していないバグがあり、セキュリティ機能の条件が合致しても正常に動作せずPDFファイルが表示されない可能性があります。
- Adobe Acrobat Reader、および、Adobe Acrobat 10.1 において表示スピードが遅くなる環境が一部あります。そのような場合、特別な設定が必要です。
- Adobe Acrobat Reader、および、Adobe Acrobat のサポート期間が切れているバージョンは Adobe 社からパッチが提供されません。そのため、セキュリティリスクがあります。

保証規程

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、又は当社ホームページ（https://document.intra-mart.jp/library/previous_index.html?product=iad）に

掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価として

イントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザ登録を完了されたお客様のみに当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）
その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上